

予算決算福祉文教小委員会審査報告書

令和8年9月17日

予算決算常任委員会委員長 清水 満 様

福祉文教小委員会委員長 近 藤 正

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付託内容
議案第58号	令和7年度飯綱町一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

■住民環境課

【民生費】

質疑①：後期高齢者医療特別会計繰出金について、令和5年度から比較していくと増えている項目があるがなぜか。

回答①：事務費繰出金については職員の配置転換が関係している。

質疑②：国民健康保険事業特別会計繰出金について、出産育児一時金や産前産後保険税軽減分があるが、これは出生数に連動しているのか。

回答②：お見込みの通り。

【衛生費】

質疑①：開発行為のモバイル事業の携帯基地局整備について、民家近くの申請はあるのか。

回答①：携帯基地局の申請は6件があった。その中1件は、倉井川西の住宅に近い

ものがあつた。その他は東高原区などで、山林等で民家の近くではない。

質疑②：飯綱町環境教育等推進行動計画にはこどもエコクラブについて令和9年度までの目標クラブ数があるが、行政報告書からこどもエコクラブというキーワードが無くなっている。今はどういう扱いか。国のホームページには存在して、動いているところは全国にあるとのことだが、飯綱町で行う予定は。

回答②：エコクラブは、それぞれの保育園、学校ができることを、環境教育推進協議会で協議している。連携している活動もあるが、各園、学校が主体で活動していただいている。

質疑③：古紙について、決算の収入のところで、古紙清算金172万7,814円となっているが、古紙については収支がプラスになっているという見方でよいか。

回答③：古紙については、収集運搬費の費用があるが、現時点では収入が多く、収支はプラスになっている。古紙の種類によって単価の違いがある。単価の高いものが多ければ収入が多くなり、雑紙のような単価が低いものが多ければ、多く収集しても収入が得られない。単価としては、牛乳パックが高価である。

■保健福祉課

【民生費】

質疑①：行政報告書270ページ「長野県価格高騰特別対策支援金（繰越）」について、対象世帯数318世帯に対し、支給世帯数が286世帯と少ない理由は何か。

回答①：未申告世帯や、世帯の事情により請求しない世帯があつたため。

質疑②：行政報告書268ページ「パワーリハビリ機器等リース料」について、メーラプラザパワーリハビリ機器リース料が0円の理由は何か。

回答②：リース期間が終了したため。

質疑③：総合相談支援事業の相談・訪問件数が減っている理由は。

回答③：職員ひとりひとりの入力仕方が違うので数字としては減っているが、実感としての対応件数は減っていない。

質疑④：オレンジカフェ等の支援事業はゼロ予算か。

回答④：社協へ委託している住民グループ支援事業の委託業務であり、ゼロ予算ではない。なお、30万円ほどの経費となっている。

質疑⑤：認知症高齢者等のSOSネットワークの登録はご本人やご家族が申請すると思うが、医療機関とは連携しているか。

回答⑤：医療機関との連携により申請してもらっているのではなく、ケアマネジャーの紹介等により申請してもらっている。

意見①：軽度の方からも予防的に制度の紹介をして、本当に困る前の段階で周知していくことを検討してほしい。

質疑⑥：お買い物支援プロジェクトの予算はどこから支出しているか。

回答⑥：一般会計の民生費から支出している。

意見②：お買い物支援プロジェクトは今年度で廃止だが、スマートグラスという機器を高齢者の方が使えるのか、どこがどういけなかったのか、是非振り返っていただきたい。

質疑⑦：母子保健事業がたくさんある中で、国庫補助金に該当するものはどれか。

回答⑦：産婦健康診査、1か月児健康診査、未熟児養育医療が該当する。

質疑⑧：未熟児養育医療給付事業について令和7年度は0件となっているが、この制度は申請することで国から町へお金が給付されるということか。現在子どもの医療費が無料のためこの制度を申請するとなると保護者にとっては書類を記入する手間などメリットがないように思う。対象となるのに申請しない場合はどうなるのか。

回答⑧：町は県、国からの補助金が交付される。ご指摘のとおり、福祉医療制度は窓口負担0円で済むのに対して、この制度は保護者が一旦窓口で医療費を支払い、その後福祉医療の申請をすることで支払った分の医療費が給付されるという流れになるため、保護者にとっては手間になってしまう。

質疑⑨：町としてどちらかを推奨するのではなく、医療機関や保護者の選択になるということか。

回答⑨：町としてどちらかをお勧めすることではなく、また保護者が申請するかを選択するというより主治医が未熟児養育医療給付の対象になるか判断することになっている。なお、福祉医療では食事代は含まれないが、この制度では治療で必要な食事代は含まれることになるといった違いはある。

【衛生費】

質疑なし

【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑なし

■教育委員会

【民生費】

□児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：子育て応援祝い事業の「誕生記念品」については、令和7年度までなのか。それに代わる取組を検討しているか。

回答①：令和8年度は実施していない。町民からの要望を精査し、次年度以降の復活等を検討していく。

質疑②：ファミリーサポートセンターの提供会員について、提供会員になるための講座の開催頻度や必要な日数や時間、資格などはあるのか。
また、令和7年度の養成講座修了者数とこれまでの累計修了者数は何人

か。

回答②：提供会員になるには、県もしくは長野市が主催する、オンライン研修を含む養成講座に約5日間通い、全課程を修了する必要がある。全課程を修了した者には修了証が交付される。

町主催で養成講座を開催できればよいが、講師の確保などが難しく開催できないため、県もしくは長野市が主催する養成講座に参加している。

令和7年度の修了者は7人であり、累計では提供会員13名、両方会員4名の計17名である。

質疑③：提供会員と依頼会員のマッチングが円滑に進まない状況や、提供会員・依頼会員双方が自宅で預かることに抵抗感を抱く点については、以前指摘した。その際、環境整備に向けた対応が必要であると述べたが、現在、整備に向けた具体的な動きはあるのか。

また、メーラプラザや町民会館も会場として検討していきたいとのことだったが、園児や小学生の預かり場所として、こうした施設の活用も考えられるのではないのか。

回答③：依頼会員の利用希望については、マッチングできていると認識している。未就園児については「みつどんのお家」での預かりが可能となっており、改善が図られていると考えている。

また、未就園児以外について、メーラプラザや町民会館での預かりを希望の場合は、施設利用に年齢などの制限がないので、自宅以外での預かりを希望する声があれば、利用できるように調整していきたい。

質疑④：児童虐待の終結件数とは、解決した件数を指すのか。それとも、年齢到達により対象外となった事案も終結に含めているのか。

また、年齢到達により対象外となった事案については、他課等へ引き継いでいるのか。

回答④：終結件数には、年齢到達により対象外となった事案も含まれる。継続して支援状況を確認する必要がある場合は、他部署と相談のうえ対応している。年齢到達をもって支援を終了するのではなく、必要に応じて次の担当部署へ引き継いでいる。

質疑⑤：以前、同僚議員が保育園の昼寝をする部屋の空調について質問したが、前年度はどのような検討が行われたのか。あわせて、予算化に至るまでのプロセスはどのようなになっているのか。

回答⑤：前年度の段階では、保育園から「冬季の床暖房を優先してほしい」との要望があり、りんごっ子保育園では床暖房による防寒対策を優先して実施した。その後、町内全保育園の整備状況のバランスを見ながら、次にエアコン設置を進める予定としていた。

基本的には、園から見積書の提出を受けての予算要求に対し、教育委員会で査定を行い、予算化するというプロセスを踏んでいる。

質疑⑥：園バスについて、利用者1人当たりの年間経費が33万円と高額である一方、利用者数は25人と少ない。町全体で一律に運行するのではなく、ライドシ

ェアやタクシーの活用、ガソリン代補助など、個別の状況に応じた対応が可能な人数だと考えるが、こうした代替手段の検討は行っているのか。

回答⑥：近隣で園バスを運行している自治体のうち、長野市では少人数の路線に普通自動車を使用している。ただし、普通自動車ではチャイルドシートの装着が義務付けられており、設置すると乗車可能人数が限られてしまうと聞いている。

また、飯綱町が運行する幼児専用車（園バス）の場合、現時点ではシートベルトの装着義務が免除されている。一方で、例えば個人の車に同乗させる場合にはチャイルドシートの装着が義務となるなど、検討すべき課題が多い。現時点では、個人による運用は難しいのではないかと考えているが、幼児専用車へのシートベルト設置の可能性も含め、継続的に調査を行っている。

質疑⑦：令和7年度から、育児休業による2歳児の退園をなくしたとのことだが、0歳児と1歳児は育休退園があると思われる。0歳児と1歳児の育休退園の人数を伺いたい。

回答⑦：令和7年度における退園は、1歳児で2名である。

質疑⑧：待機児童が発生しているという認識だが、その待機児童数を伺いたい。

回答⑧：国の待機児童基準に相当する飯綱町の待機児童は、ゼロである。

質疑⑨：保育園給食について、物価高における国や町の負担の状況について伺いたい。

回答⑨：保育園の給食費は大きく上昇している。献立作成や食材購入を担当する栄養士からは、対応が難しいとの話を聞いている。町では、副食費（おかず・おやつ代）を保護者から徴収していないため、保護者負担額への影響はないと考えている。

また、保育認定を受けている3歳未満児については、保育料に給食費が含まれている。一方、3歳以上児は保育料無償化の対象であるが、給食費は無償化の対象外である。このため、町独自の施策として、主食費を除く副食費（おかず・おやつ代）を町が負担している。

質疑⑩：一時預かり保育について、利用可能日が指定されているため、希望日に利用できない状況が生じている点について伺いたい。

回答⑩：一時預かり保育は、基本的に在園児の保育の中で受け入れている。そのため、園に受け入れの余裕があり、かつ一時預かり保育を担当する専任職員が対応できる日を利用可能日としている。このことから、希望日に利用できない場合が生じている。

質疑⑪：保育士の確保について、当面は複数名を採用して体制を充実させないと今後の対応が難しいとのことだが、今後の見通しについて伺いたい。

回答⑪：保育士の配置基準に基づく定員は36名である。現在、その人数に近づけるべく募集を行っており、応募もある。引き続き、保育士の確保に向けて努めていく。

意見：令和8年4月から、理学療法士および作業療法士が、一定条件を満たす場

合、「みなし保育士」として扱われることとなっている。現場を支援する人材として、他職種の活用も検討すべきと考えるので、今後、他自治体の事例を共有したい。

【教育費】

□教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑①：アスリート派遣事業は、企業版ふるさと納税によって成り立っているが財源確保など今後の継続性はあるのか。

回答①：企業版ふるさと納税は、寄付を行う企業が目的を明示して寄付する制度である。このため、本事業については「子どもたちに夢を与える授業」に活用してほしいという前提がある。

今後の本事業に対して、企業版ふるさと納税を行っていただける企業を募っていきたいが、事業を継続できるかどうかは現時点では不透明である。事業自体は教育委員会が企画するが、寄付者の意向を最優先に反映して内容を組み立てる方針で進めている。

質疑②：「夢の事業」の人選はどうしているのか。

人選の段階で児童生徒に、事前アンケートを取ることはないのか。

回答②：スポーツに限らず、ネイリストなど多様な分野の方に来ていただけるよう、教育委員会が大枠を示し、委託業者に調整してもらっている。

人選については、子どもたちの声を聞くことも今後行っていきたい。

質疑③：「夢の事業」の実施後、効果検証としてアンケートを実施しているか。

回答③：教育委員会ではアンケートを実施していないが、各学校で振り返りの授業を行っている。今後は、振り返りの実施状況について学校に確認したい。

質疑④：SSW(スクールソーシャルワーカー)について、評価を実施しているか。

回答④：教育委員会として SSW 個人の評価は行っていないが、学校や教員との情報連携が図れているとの評価である。町からの委託では1名と契約しており、小学校6年生及び中学校2年生の全員面談や心の授業も行っている。
また、必要に応じて県の SSW やスクールカウンセラーなどと連携し、子どもの状況に応じて関わりながら支援体制を構築できているとの認識である。

質疑⑤：防犯カメラの映像チェックは定期的に行っているのか。

回答⑤：定期的にはしていないが、警察など問い合わせがあった時など個別事案に応じて確認をしている。

質疑⑥：通学路の危険情報など、「i ナビいづな」で寄せられる案件はあるのか。

回答⑥：現時点では寄せられていない。

意見①：通学路において、日常的に危険と感じた箇所をすぐに通報できるよう、教育委員会側から周知してほしい。

回答①：Home&School(情報発信システム)により情報提供するなど検討したい。

質疑⑦：5歳児相談事業は町独自か。町内保育園に通っていない子は対象外なのか。また、担任保育士との情報共有がとれていないのではないのか。

回答⑦：町独自の事業である。町内保育園に通っている子は全員を対象としており、町外保育園に通っている子は必要に応じて実施している。

なお、この事業には、臨床心理士や療育コーディネーターをはじめ、保健師や社会福祉士など専門職が加わって、保育士と連携しながら実施している。

質疑⑧：コミュニティスクール（学校運営協議会）の機能は形骸化していないか。

回答⑧：協議会委員については、あて職として就任いただいている人もいる。今後、より良い学校運営につながるようにコミュニティスクールの体制を整えていく。

質疑⑨：教員住宅は4棟で、1棟のみの入居者であるが、今後の見通しはどう考えているか。

回答⑨：校長用住宅として2棟、教員用住宅として2棟を管理しており、今後も4棟は確保していきたい。

質疑⑩：奨学金について、貸与する金額の見直しなどの検討はしているか。

回答⑩：今のところ検討していない。

質疑⑪：小学校における学習支援員と介助員の配置について基準があるのか。

回答⑪：教育委員会として一定の基準がある。基準以外については各年度において学校の要望に合わせて調整している。

質疑⑫：就学援助費の周知は保護者へ直接、行き届くよう発信しているか。

回答⑫：現在は、子ども通じてチラシを配布している。今後は Home&School システムなどを活用し、保護者に直接届くような情報発信を検討していきたい。

質疑⑬：小学校体育館の空調設備工事が年度内に間に合わなかったとのことだが、当初の工期終了予定と空調の使用開始を見込んでいた時期を教えてください。今夏に使用できる状態にすることは見込んでいなかったのか。

回答⑬：当初は、工期の終了を3月中旬に予定していた。しかし、昨今の世界情勢により電源設備の調達に時間を要することなどを踏まえ、工期を9月30日まで延長した。工期が9月末までとなることで今夏の使用開始は難しいと判断していたが、竣工後は、できるだけ早期に使用を開始することを想定していた。

意見②：英検補助に関するルールを明確にして、特に小学生の家庭への周知を徹底してほしい。

□社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑①：地区育成会の動きが各地区バラバラだが、町としての定義はあるのか。

回答①：特に町としての定義はない。

質疑②：ブックスタート事業は、対象年齢の子ども全員から申し込みをいただいているのか。

回答②：令和7年度は、全員に本を渡ししている。

質疑③：「メディアを考える日」について、インターネット上には令和3年2月に実

施したアンケート結果が掲載されている。令和7年度の実施の有無および今後のアンケート実施予定はどうか。

回答③：令和7年度のアンケートは実施していない。現時点で今後の実施予定はないが、必要に応じて子ども読書推進委員会で協議の上、アンケートの実施等を検討する。

質疑④：町内の体育館や運動場について、町外の利用者はどのくらいいるのか。

回答④：利用者数について、町内・町外別の集計は行っていないため把握できていない。

利用状況としては、町内利用者が多く、町外利用者は比較的少ないと認識している。一方で、子どもの野球など少年スポーツクラブの利用は町内でも減少しているため、野球場などは町外の利用者も以前より利用しやすくなっている印象がある。

□学校給食共同調理場費

質 疑：有機農法で栽培したジャガイモやプルーンとの記載があるが、有機 JAS を取っているものか。

回 答：ジャガイモについては、有機 JAS 認証は取得していないものと認識しているが、有機 JAS に準じた圃場で栽培されたものと聞いている。プルーンについては、有機 JAS 認証を取得したものを取り扱っている。

令和7年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のとおりです。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。